



キナシ大林病院

# 地域連携室だより

盛夏の候、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、医療介護機関様との関係をより深めるために「地域連携室だより」を創刊することとなりました。当院の様々な情報を掲載いたしますので、ご覧いただけますようお願いいたします。

## 2019年8月号

キナシ大林病院 地域連携室

〒761-8024 香川県高松市鬼無町藤井 435-1

地域連携用 TEL 087-881-3676

医療相談用 TEL 087-802-6668

直通 FAX 087-882-3539

### 診療所・クリニックの先生方へ

#### 各種検査承ります

- ・CT・MRI・超音波検査
- ・マンモグラフィ・骨密度測定

お急ぎの場合は当日の検査も検討可能です。

放射線科専門医が読影し、結果報告いたします。

お電話またはインターネット経由（設定が必要です）でも予約ができます。

#### 入院患者様のご紹介について

先生方からご紹介いただいた患者様で対象となる場合「在宅患者緊急入院診療加算」を算定しております。対象となるかを確認するために、入院前に在宅時医学総合管理料、施設入居時等医学総合管理料、在宅がん医療総合診療料又は在宅自己注射指導管理料を除く在宅指導管理料を算定されているかお問い合わせさせていただく場合があります。

### ソーシャルワーカー相談用の電話番号を新設しました。

## 087-881-3676（既存）

地域連携担当看護師が主に対応します。

内容：①紹介受診の調整

②転入院等についての相談

## 087-802-6668（新設）

ソーシャルワーカーが対応します。

内容：①入院中の患者さんについての相談

②施設・ケアマネさんからの相談

③転入院等についての相談

④その他の相談

### レスパイト入院のご案内

当院では、空き病床を利用してレスパイト入院を受け入れています。日ごろから医療ニーズがある患者さんを介護されているご家族さんの休息のためにご利用ください。

入院中患者さんへは希望や病状により、諸検査・リハビリ・療養指導等を実施させていただきます。

#### 連携実績

	紹介率	逆紹介率	紹介入院数		退院支援の状況					
			クリニック様からの紹介	病院様からの紹介	介護支援等連携指導料算定数	退院時共同指導料算定数	退院支援加算Ⅱ算定数	退院前カンファレンス数実施数	MSW介入患者数	退院患者数
4月	34.9%	26.1%	20	26	10	4	未届	20	50	170
5月	30.0%	28.1%	16	18	13	3	未届	18	58	168
6月	25.1%	23.1%	16	27	9	1	4	14	49	167

紹介入院については、クリニックさんからは治療、急性期病院からはリハビリや施設入所を目的として多く紹介いただくことが多いです。6月より退院支援加算の算定を開始しています。入院時からケアマネジャーやご家族さんから話を聞く機会が増えると思いますが、それをもとにこれまで以上に手厚い支援を心がけていきます。退院時連携には様々な職種の方のご来院をお待ちしています。

## 介護施設相談会

施設入所を検討されている患者さんのために、「介護施設相談会」を開催します。入院中や高齢などの理由で複数の施設を見学できない方に、入所先の選択肢を増やすと同時に、直接担当者と話をさせていただくことでお互いの不安を軽減していただきたいと思います。以下の予定で実施します。詳しくは添付の資料をご確認ください。

日時：2019年9月7日（土）14：00～15：00

場所：キナシ大林病院 1階通路

問い合わせ：藤澤まで

## 第3回地域ケア懇談会のご案内

在宅・施設での療養を担う皆様と日ごろからお付き合いさせていただき、お互いに無理のない連携の在り方を相談しましょう。

- ①入退院事例の発表
- ②当院入退院連携における改善点の確認
- ③情報提供

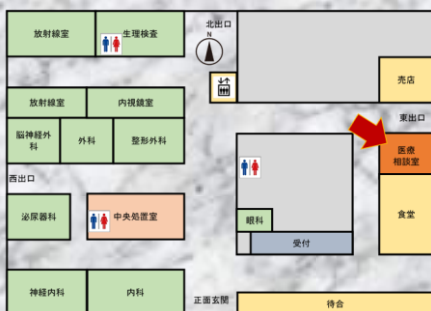
日時：2019年9月12日（木）18：30～

場所：キナシ大林病院 3階会議室

申込：地域連携室までご確認ください

### 地域連携室のご案内

病院1階の東出口のすぐ南にあります。入口を開くと面談室があり、その奥が事務室となっています。電気が消えているように見えても在室の場合がありますので、お手数ですがドアを開けてお声かけください。



どちらの入口からでも入れます



事務室内の風景。少々散らかっていますが・・・

# 担当者より



藤澤孝雄  
7F病棟  
退院支援部門  
社会福祉士

在宅のケアマネジャーから当院へ転職して8年になります。日々たくさんの患者さんが入院され、お話しする機会をいただきます。急に非日常の治療中心の生活の場に移られた方の、治療以外の面での不安をできる限り軽減したいと考えています。

医療現場での決まりごとを当然のこととせず、できるだけわかりやすくお伝えしていきます。退院後の生活を担う皆様のご協力をよろしくお祈いします。



林幸代  
地域連携・  
退院支援部門  
看護師

これまで、病棟、外来、透析室、オペ室などで勤務して参りましたが、この度、地域連携室に配属となり、入退院支援等に携わることになりました。経験のない部署で、知識不足な面も多々ありますが、院内外の方々の協力を得ながら毎日奮闘しております。

患者さんや、急性期病院、診療所から当院を受診先、転院先として選んでいただけるよう、そしてスムーズにその受け入れができるよう努めて参ります。

ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお祈いいたします。



田尾沙絵  
6F病棟  
社会福祉士

いつもお世話になっております。

日々の業務の中で話し合いを重ねることで、何かを得られるということがよくあると感じます。患者さんやご家族の話を聞き、そこに携わるスタッフの情報を大切にしながら患者さんの今後の生活の役に立てるように少しでもお手伝いできればと思っています。キナシ大林病院に相談してよかったと思っていただけるよう連携も大切にしていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお祈いいたします。



稲毛ももこ  
5F病棟  
ソーシャル  
ワーカー

お世話になっております。

6月より、5階病棟の担当になりました。患者様や家族様に寄り添えるように支援していきたいと考えており、日々、模索しながら勉強させていただいております。

寄り添う立場にいながら、患者様からよく元気をもらうことがあります。一緒に悩んで、その人に合った選択肢を広げられたらと考えております。病院には他職種がそろっているのも、様々な分野から支援できるよう日々精進できればと思っています。入職したばかりで、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお祈いいたします。